

クリスチャン偉人伝

講座内容

「クリスチャン偉人」と、いわゆる一般の偉人とは一体何が違うのだろうか。前者の場合、その深い信仰を原動力に、人々や社会に貢献することを第一に考えて生きた人々たちである点が特徴と言える。今回は、5人の大学チャプレンが、それぞれの視点から選んだクリスチャンの偉人を紹介し、その信仰、苦悩、行動、そして現代への示唆を探っていく。それらの偉人たちの生き方を通して、信仰とは何か、人としてどう生きることが大切かを考える機会としたい。キリスト教に馴染みのない方にも関心を持っていただける内容となっているので、是非ご参加いただければと思う。

期 間	10月18日～11月22日	受講料	7,000円
曜 日	土曜日	定 員	50名 ※最少催行人数 6名
時 間	13:30～15:10	会 場	横浜・関内キャンパス
回 数	全5回	持ち物	筆記用具(聖書)
教 材	担当者によっては、パワーポイントのスライドの資料やレジュメを配布する場合があります。		
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ●この講座10月10日(金)までに中止の連絡がなければ開催となります。 ●聖書本文はスライドに出しますので、聖書は必ずしもお持ちになる必要はありません。ただし参考箇所(こちらでは章節の提示のみ)も自分で確認したい場合は、ご持参ください。訳について、特に指定はありませんが、本学教員は基本的に新共同訳聖書を使用します。 		

講座スケジュール

回数	日 程	内 容	担当講師
1	10月18日(土)	ジョン・ウィクリフ イングランドの神学者であるジョン・ウィクリフ(1324-1384)は、「中世の宵の明星、宗教改革の明けの明星」などと呼ばれる人物である。大胆な批判精神と新たな時代のキリスト教への思いを持ちながら時代の変わり目を駆け抜けたウィクリフの人生と、その背景にあったものを紹介する。	内藤 幹子
2	10月25日(土)	フローレンス・ナイチンゲール 「ナイチンゲール」(1820-1910)の名前を知らない日本人はまずいないであろう。しかし彼女がクリスチャンであったことを知る人はほとんどいないであろう。それゆえ、「近代看護の母」を呼ばれる彼女の活動と大きな社会貢献が、彼女の深いキリスト教信仰に基づくものであることを明確しつつ、「ナイチンゲール」を語りたい。	石渡 浩司
3	11月 8日(土)	ウィリアム・ウィルバーフォース 若き政治家ウィルバーフォース(1759-1833)は、仲間と共にイギリスの奴隷貿易廃止と奴隷制廃止のために戦う。多数の議員の反対に合い、若さと健康も犠牲にしたが、彼の活動の影響は、イギリスの奴隷制解放に留まらなかった。神を愛し、隣人を愛し、自然界を愛することによって体現されたウィルバーフォースのキリスト教倫理を検証する。	富田 茂美
4	11月15日(土)	ディートリヒ・ボンヘッファー 第二次世界大戦中、反ナチス抵抗運動およびヒトラー暗殺計画に加担し、逮捕、投獄、そして処刑されたのが、ドイツのプロテスタント神学者であり牧師のディートリヒ・ボンヘッファー(1906-1945)である。没後80年となる今、ナチズムに抗したボンヘッファーの生涯とキリスト教倫理思想に学び、この世に生きる責任倫理と戦後80年の日本の平和構築の課題についても考えたい。	豊川 慎
5	11月22日(土)	ジョン・ウェスレー イギリスの牧師でメソジスト運動の創始者であるジョン・ウェスレー(1703-1791)は、敬虔主義の流れに立ち、個人の聖化と社会奉仕の両方を重視した。馬上传道で農村や都市を巡り、平信徒や女性を伝道に参加させるなど、従来の伝統的教会組織にとらわれない新たな信仰共同体を築いた。個人の信仰と社会での行動を結びつけたリーダーとして評価されるウェスレーが今日のキリスト教に与えた意味について考えたい。	高井 啓介

講師紹介



コーディネーター
石渡 浩司(いしわた ひろし)
本学教育学部教授・大学宗教主任
新約聖書学・初代教会史専攻



内藤 幹子(ないとう みきこ)
本学経営学部教授・大学宗教主事
組織神学・バプテスト信仰思想専攻



富田 茂美(とみた しげみ)
本学特任教授 学院宗教主事・宣教師
フェミニズム神学・キリスト教倫理専攻



豊川 慎(とよかわ しん)
本学理工学部准教授・大学宗教主事
キリスト教平和学・キリスト教倫理専攻



高井 啓介(たかい けいすけ)
本学国際文化学部教授・大学宗教主事
宗教学・旧約聖書学専攻